



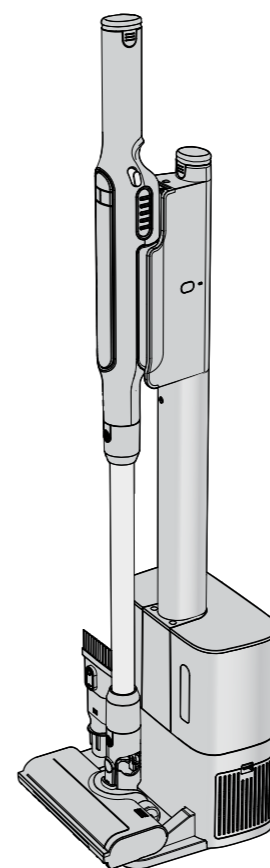
家庭用
区分：持込

取扱説明書

ダストステーション付きクリーナー

保証書付（裏表紙）

ANGV-SCD15-A-WH



この度は、e angleダストステーション付きクリーナーをお買い上げいただきまことにありがとうございます。
ございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき正しいご使用をお願いいたします。

また、この取扱説明書はいつでも見ることができる所に保管してください。

この製品は日本国内用に設計されていますので、日本国外では使用できません。

FOR USE IN JAPAN ONLY.

もくじ

| | |
|--------------------|----|
| 安全上のご注意 | 02 |
| 使用上のご注意 | 05 |
| 各部のなまえ | 06 |
| 組み立てかた | 07 |
| 充電のしかた | 09 |
| 使いかた | 11 |
| お掃除する | 12 |
| お手入れのしかた | 14 |
| 故障かな?と思ったら | 20 |
| 電池パックを廃棄するとき | 23 |
| 仕様 | 24 |
| 消耗品、別売部品 | 25 |
| アフターサービス | 26 |
| 保証書 | 27 |

安全上のご注意

- ・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ご使用前に、この「安全上のご注意」をすべてよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。

法令に関する表示

- ・本製品は、安全に責任を負う人の監視、又は指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）が単独で機器を用いることを意図していません。本製品で遊ぶことのないように監視してください。
- ・クリーナー本体は、専用のダストステーションで充電してください。
- ・電源コードが破損した場合、コードの交換は危険を伴いますので、販売店にご相談してください。

絵表示について

この取扱説明書と製品への表示は、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、下記の絵表示で区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



本製品は、屋内専用製品です。
屋外では使用しないでください。



ご使用前に、取扱説明書を必ず
よくお読みください

| | |
|-----------|--|
| 危険 | 「死亡または重傷を負う可能性が高い内容」を示します。 |
| 警告 | この表示を無視して、誤った取扱いをすると「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。 |
| 注意 | この表示を無視して、誤った取扱いをすると「人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容」を示しています。 |

警告

製品の取扱いについて

灯油・ガソリン・シンナー・可燃性ガス（スプレー）などの引火性のもの、タバコの吸い殻など火の気のあるもの、コピー用トナーなどの可燃物、じゃうたん洗剤などの泡状のものを吸わせない
・火災の原因になります。

火やストーブのそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など高温の場所に保管しない
・発熱・発煙・破裂・発火の原因になります。

充電完了直後は、本体、ダストステーションの接点や電源プラグに触れない
・やけどの原因になります。

水洗いや、風呂場などの水回りでの使用は絶対にしない
水に濡れたら使用しない（水洗いできる部品は除く）
湿気の多い場所で充電や保管をしない
・感電の原因になります。

絶対に改造はしない また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
・火災・感電・けがの原因。
修理は家電の119番(P26)にご相談ください。

子供だけで操作させない
・感電・けがの原因になります。

保管・使用してはいけない場所

発熱器具、引火性物質の近くで保管・使用しない
・火災・けが・変色・変形の原因になります。

湿度が極端に高い場所で保管・使用しない
・感電・火災・けがの原因になります。

周囲温度が5℃以下、35℃以上になる場所で保管・使用しない
・故障・火災の原因になります。

安全上のご注意

警告

長時間直射日光のあたる場所に置かない
・火災・変色・変形の原因になります。

電源コード・ダストステーションを正しく使用する

付属のダストステーション以外を使用しない
・感電・火災の原因になります。

交流100V 15A以外のコンセントを使用しない
・感電・火災の原因になります。

濡れた手で電源コードと本体を扱わない
・感電の原因になります。

電源コード・電源プラグが破損している場合は使用しない
・感電・火災の原因になります。

お掃除、お手入れを行うときは、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜く
・感電・けがの原因になります。

内蔵の電池パックを火中に投入しない
・爆発・火災・けがの原因になります。

充電する前に必ず本体の電源を切る、充電中に本体を使用しない
・感電・故障の原因になります。

コンセントから電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って引き抜く
・感電・火災の原因になります。

電源コードを破損させる、加工する、無理に曲げる、引っ張る、捻じめるなどしない
・感電・火災の原因になります。

電源コードに重いものを載せたり、挟み込んだりしない
・感電・火災の原因になります。

注意



家庭用以外（店舗などでの長時間使用や不特定多数の人の使用など）では使用しない
・発煙・発火などの不具合の原因。

パワーブラシは本製品以外に取り付けない また、別製品のパワーブラシを取り付けない
・発煙・発火の原因になります。

吸込口をふさいで長時間運転しない
・過熱による本体の変形・発火の原因になります。

排気口をふさがない
・火災の原因になります。

排気口付近には触れない
・やけどの原因になります。

火気に近づけない
・本体の変形によるショート・発火の原因。

灯油・ガソリン・シンナー・可燃性ガス（スプレー）などの引火性のものの近くで使用しない
・爆発・火災の原因になります。

本体、アルミパイプ、ダストステーションの接点にピンなどの金属類に触れさせない
・発熱・発火・感電の原因になります。

ハンドル部分以外を持って本体を持ち上げない
・本体落下による床の傷付き、けがの原因になります。

ダストステーションは不安定な場所に設置しない
持ち運ぶときは本体とダストステーションを別々に持ち運ぶ
・床の傷付き・けがの原因になります。

安全上のご注意

⚠️ 注意

- 禁止** 本体を壁などに立て掛けない
・床の傷付き・けがの原因になります。
ダストステーションに水・海水・ジュースなどの液体につけない、ぬらさない
・感電・ショート・過熱による変形・発火の原因になります。

- 指示** 電源プラグ・電源コードは正しく使う
充電をした後は、コンセントから電源プラグを抜く
・けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。
ダストカップ、フィルターは正しく取り付ける
割れたり、古くなったときは交換する
・発煙・発火の原因になります。

電池パックについて

※電池パックの交換・購入はお買い上げの販売店にご相談ください。

⚠️ 危険

- 分解禁止** 分解、改造しない
・電池パックの液漏れ・発熱・破裂・発火の原因。
電池パックには危険防止のための安全機構が組み込まれています。これらを損なうと、安全にお使いできなくなります。

- 水ぬれ禁止** 水・海水・ジュースなどの液体につけない、ぬらさない
・発熱、破裂、発火の原因になります。

- 指示** 内部から漏れた液が目に入ったときは、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受ける
・目に障害が起きる原因になります。

- 禁止** 当社指定の純正電池パック以外を使用しない
火の中に投入しない、加熱しない
端子同士を針金などの金属で接続しない
金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管したりしない
釘を刺す、ハンマーで叩く、踏みつけるなど、強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない
電子レンジやオーブンに入れない
・発熱・破裂・発火の原因。
火やストーブのそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など高温の場所で充電、使用、保管しない
・液漏れ・発熱・破裂・発火の原因。

安全上のご注意

⚠️ 警告

- 禁止** 異臭、発熱、変色、変形、その他、今までと異なることに気付いたときは使用しない
・発熱・破裂・発火の原因になります。
不要になった電池パックは一般ゴミとして捨てない
・捨てられた電池パックがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になります。
ぬれた手で触らない
・感電・けがの原因になります。

- 指示** 液漏れしたり、異臭がするときはすぐに火気から遠ざける
・液漏れした電解液に引火し、破裂・発火の原因。
乳幼児の手の届かないところに置く
・感電・けがの原因。

⚠️ 注意

- 禁止** 電池パックを単独で充電しない
・電池の液漏れ・発熱・破裂の原因。
電池パックの上に可燃物を載せたり、おおったりしない
・発熱・破裂・発火の原因になります。

- 指示** 内部から漏れた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流す
・皮膚がかぶれる原因になります。
必ず 5℃以上 35℃未満の環境で充電する
・発熱・破損の原因になります。
湿気やほこりが少ない場所で使用、保管する
・発熱・発火・感電の原因になります。

使用上のご注意

異臭の発生・本体の故障・ダストカップの傷つき、集塵性能低下を防ぐために

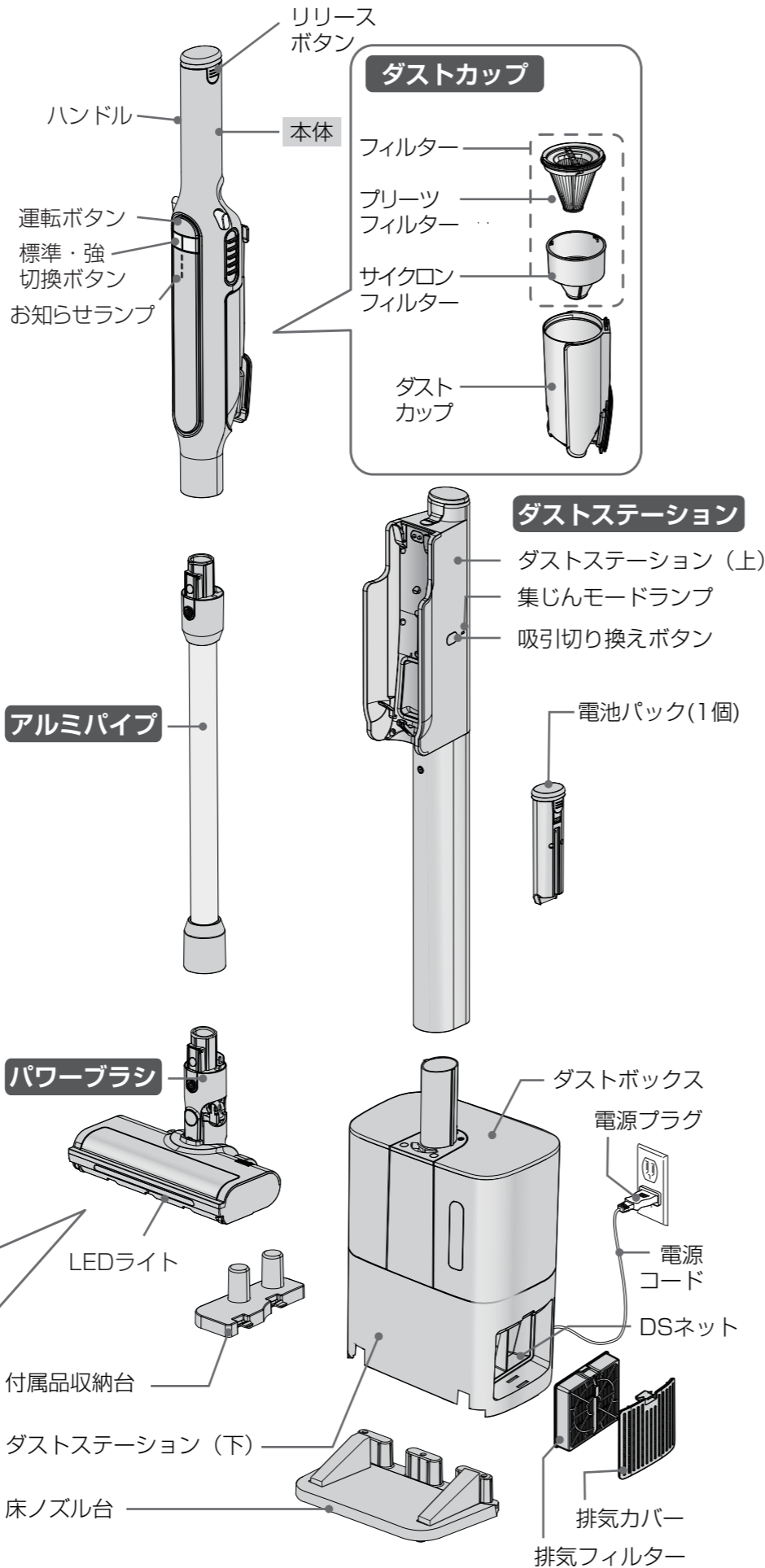
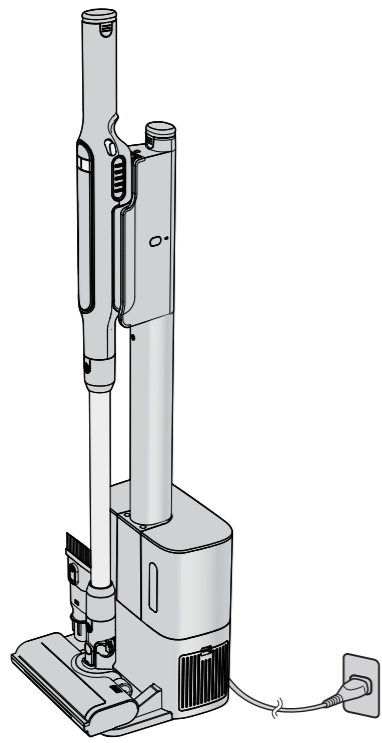
- 次のものは吸わせない
・水などの液体、吸湿剤（湿気取り）など、水分を含んだゴミ。
・ペットの排泄物などが付着したもの。
・ガラス・針・ピン・刃物など鋭利なもの。
・ペットの排泄物・多量の砂粉末・小石・コインなど目詰まりするもの。
・食品用ラップ・包装用フィルム・ビニール袋などの通気性の悪いもの。
床・壁・家具などへの傷付きや、パワーブラシ・アルミパイプの破損・故障を防ぐために
●パワーブラシ、付属のノズルを取り付けず使用しない
●使用時はハンドルを持ち、アルミパイプやパワーブラシに手を添えない
アルミパイプ・パワーブラシに無理な力が加わり、ダストカップがはずれることがあります。
●本体を強く当てない
壁・家具・床などに強く当てたり擦ったりすると色が付いたり、傷がつくことがあります。

- パワーブラシは力を入れずに片手で軽く滑らせる
壁・家具などに強く当てると色が付きます。杉・ひのきなどやわらかく傷付きやすい木床や、床用ワックス・ツヤ出し床用洗剤をお使いのときは、床にこすり傷が付くことがあります。
●パワーブラシの車輪・起毛布が摩耗しているときは使わない
お掃除の前に点検してください。
●パワーブラシを凹凸のあるコンクリート床などで使わない
パワーブラシの車輪・起毛布が摩耗します。
●砂を含んだゴミを吸わせた場合、パワーブラシ裏面の車輪・起毛布に付いた砂ゴミは取り除く
●ダストステーションを引きずらない
リサイクルにご協力ください
●電池パックは貴重な資源です
製品を廃棄するなど不要になった電池パックは、そのまま廃棄せず、販売店へお持ちください。電池パックの処分のしかたは P23 をご覧ください。

各部のなまえ

組み立てかた

収納・充電時



⚠️注意

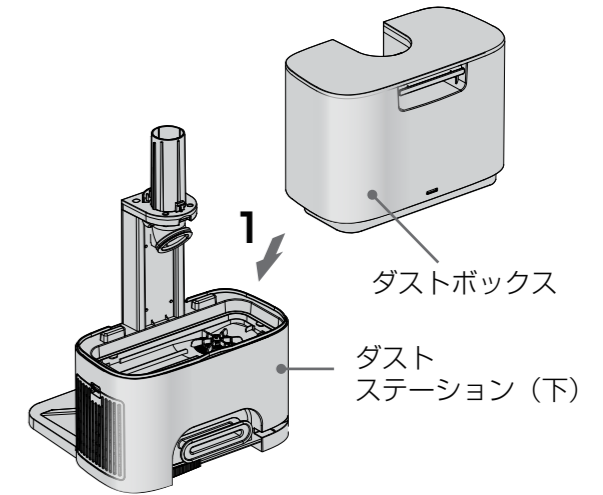
禁止 電池パックの上に可燃物を載せたり、おおったりしない
 ・発熱・破裂・発火の原因になります。
 ダストステーションは不安定な場所に設置しない
 本体をダストステーションに収納した状態で持ち運ばない
 ・発熱・破裂・発火の原因になります。

指示 必ず 5℃以上 35℃未満の環境で充電する
 ・発熱・破損の原因になります。
 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く
 ・感電・ショート・発火の原因になります。

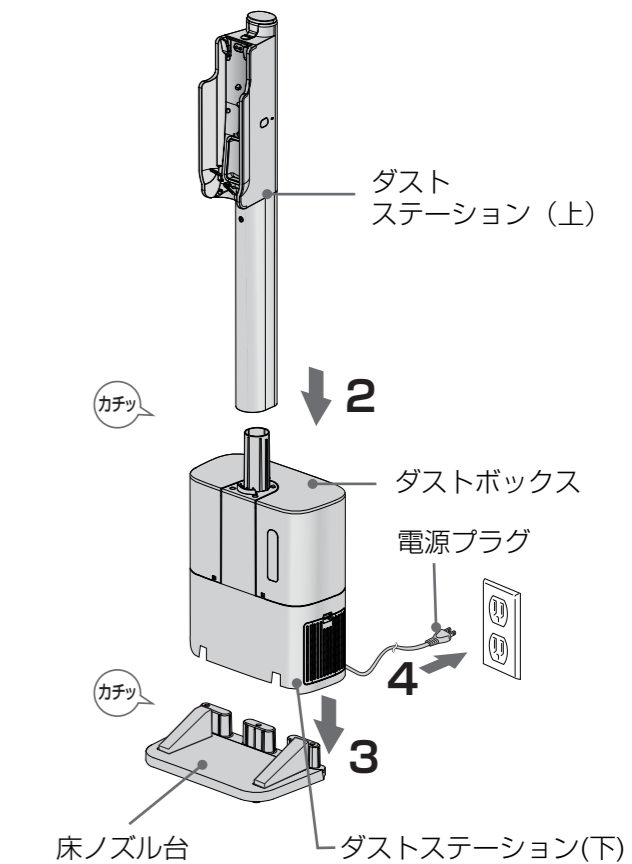
ダストステーションの組み立て

1 ダストボックスをダストステーション(下)に差し込む

- お願い**
- ダストステーションを移動させるときは、本体をダストステーションからはずし、ダストステーションを持ち上げて運んでください。
 - 排気口をふさがないように、ダストステーションの両側は壁などの障害物から50cm以上離してください。
 - ラジオの音声に雑音が入る場合は、ダストステーションをラジオから2m以上離れたコンセントに差し込み充電してください。



2 ダストステーション (下) にダストステーション (上) を差し込む



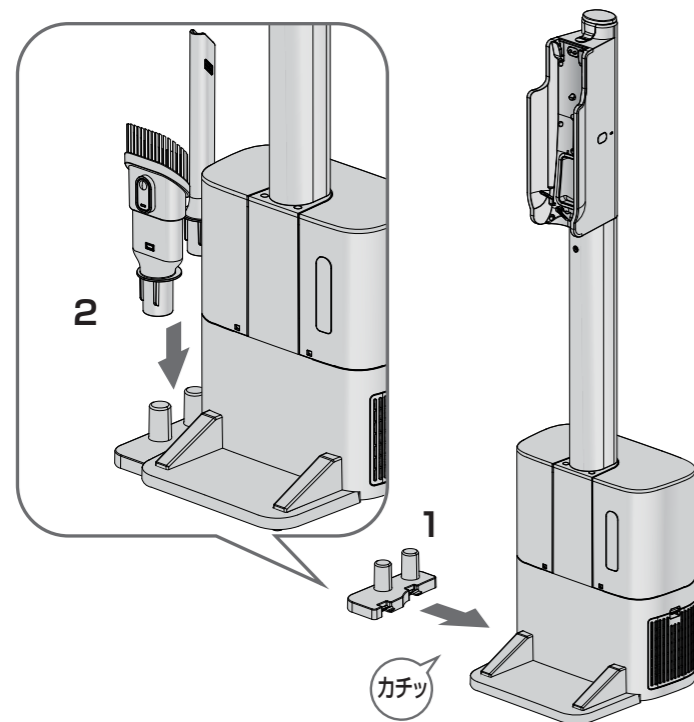
3 ダストステーション (下) に床ノズル台を差し込む

4 電源プラグをコンセントに差し込む

組み立てかた

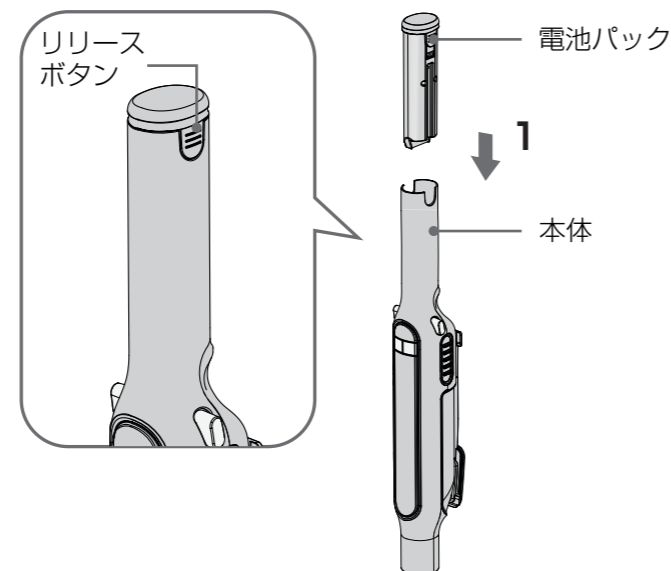
付属品を収納する

- 1 ダストステーションに付属品収納台を取り付ける
- 2 付属品収納台に2in1 ブラシと隙間ノズルを収納する



電池パックと本体の組み立て

バッテリーを本体に差し込む

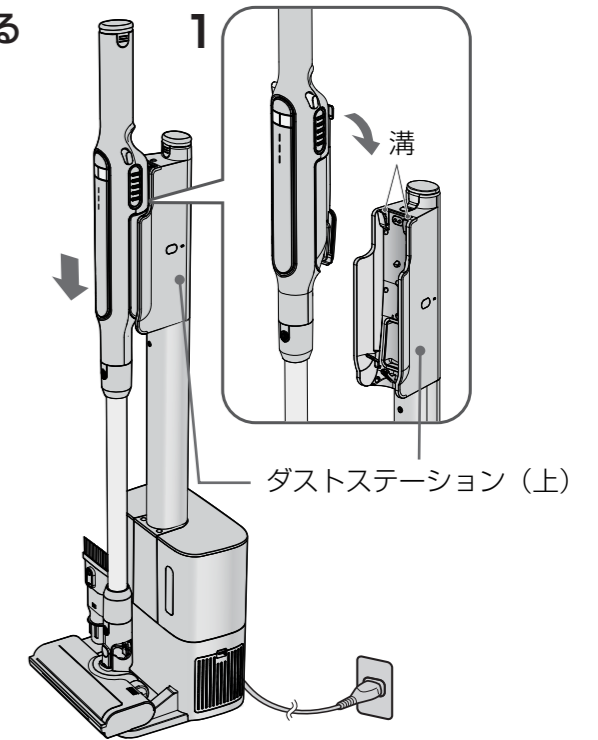


充電のしかた

本機には二つの充電方法があります。

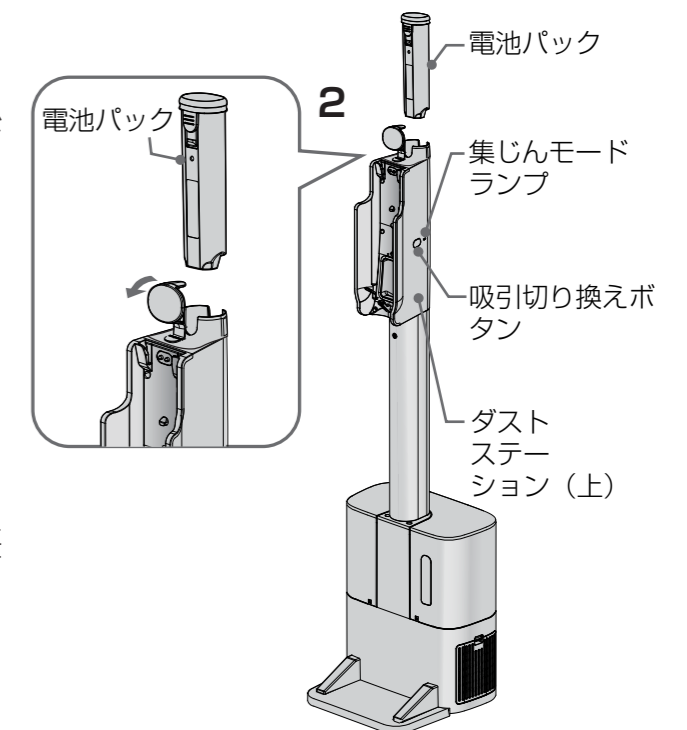
1 本体をダストステーション（上）にセットする

ダストステーションに本体をセットすると吸引開始し、本体にたまったゴミを吸い取ります。お知らせランプが白点滅または一部点滅と一部点灯の状態から充電を開始します。



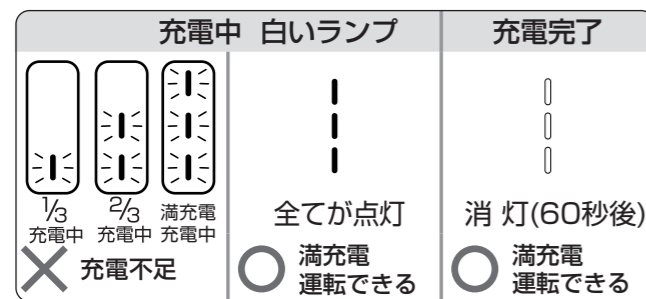
2 ダストステーション（上）に電池パックを接続する

電池パックを充電するときは、集じんモードランプが点滅します。満充電になるとランプが点灯し、1時間後消灯します。



※ 本体と別売の電池パックを同時にセットした場合、優先で本体での電池が満充電になってから電池パックへの充電になります。

充電のしかた



※ 電池残量に応じて、不足分が点滅します。本体での電池満充電になると、3ランプ全部点灯してから60秒後消灯になります。

約4.5時間で満充電になります。(室温や電池パック残量によって変わります)

※満充電にしてからご使用ください。充電量が少ないと運転できないことがあります。

お願い

●連続してダストステーションの自動吸引を行わないでください。(モーターが熱くなり故障の原因)

自動モードと手動モードの切り換え

自動モード：ダストステーションに本体をセットしたら、ゴミを自動で吸引するモードです。

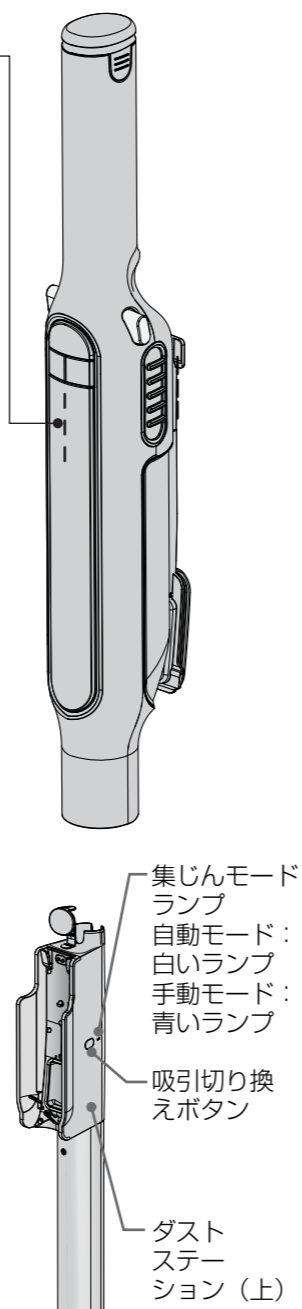
手動モード：ダストステーションに本体をセットし、吸引切替えボタンを押すことで、ゴミを吸引するモードです。

購入時は自動モード(白いランプ)に設定されています。手動モードに変更する場合は、吸引切り換えボタンを長押し(3秒)、青いランプしてください。

手動モード(青いランプ)にした際、吸引切り換えボタンを押すと、吸引を開始します。

※自動モード設定、手動モードの設定は電源抜き差ししてもコンセントから抜く前の設定を維持します。

※充電中に、手動モードから自動モードへ切り替えた場合、ダストステーションは動作しません。



| 充電について | | 運転時間について (電池パック初期・満充電・20℃の場合) | |
|---|--|----------------------------------|--------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ●次の場合、充電時間が長くなる場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・室温が低いまたは高度が高い場所で充電したとき ・運転停止直後に充電したとき ●使用時間にかかわらず、お掃除が終わった後は必ず充電してください。 | | 標準 | 約33分(ハンディ) 約30分(スティッククリーナー) |
| <h3>長期間使用しないときは</h3> <ul style="list-style-type: none"> ●1ヵ月以上使用しないときは、満充電にしてから保管し、半年に1回は充電してください。(電池パック残量の少ない状態で保管すると、電池パックの性能や寿命の低下の原因) | | 強 | 約11分(ハンディ) 約10分(スティッククリーナー) |

※お掃除する場所のゴミの状態や使用環境によって異なります。
 ・室温が低い場合、運転時間が短くなったり、吸込力が弱くなったりすることがあります。

使いかた

大きめの紙片や包装用フィルムなどは、風路に詰まる場合があります。お掃除の前に大きいゴミをあらかじめ拾っておいてください。

1 ダストステーション(上)から本体をはずす

2 運転ボタンを押して、お掃除する

※本体をダストステーションからはずした直後は運転できません。約3秒間お待ちください。

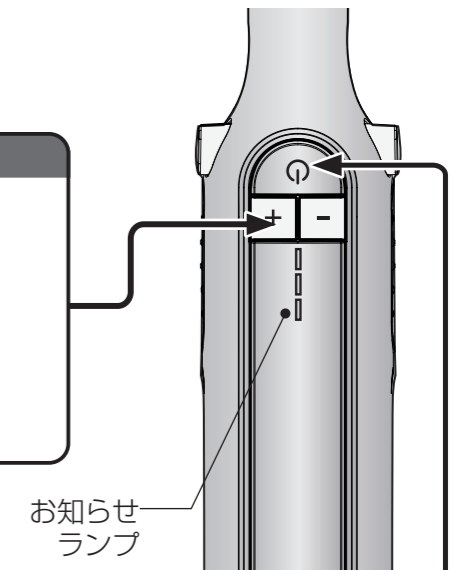
吸込力を選んでお掃除する

+ - +が強モード、-が標準モード

標準モード：通常のお掃除
 強モード：吸込力が強く、パワーブラシの回転ブラシが早く回転します。
 ・じゅうたんなどの強い吸込力が必要なとき

※掃除開始時、パワーブラシの先端緑色のLEDライトが点灯し、床面のゴミを見えやすくします。

■お知らせランプで電池パックの残量を点滅してお知らせします。運転できる時間が残り少ないです。充電してください。



3 運転を止める(運転中に運転ボタンを押す)

4 お掃除が終わったらダストステーション(上)にセット(充電)する

本体をダストステーション(上)にセットし、ゴミの吸い取りと充電をします。

お願い

●運転中に電池パックをはずさないでください。故障の原因になります。

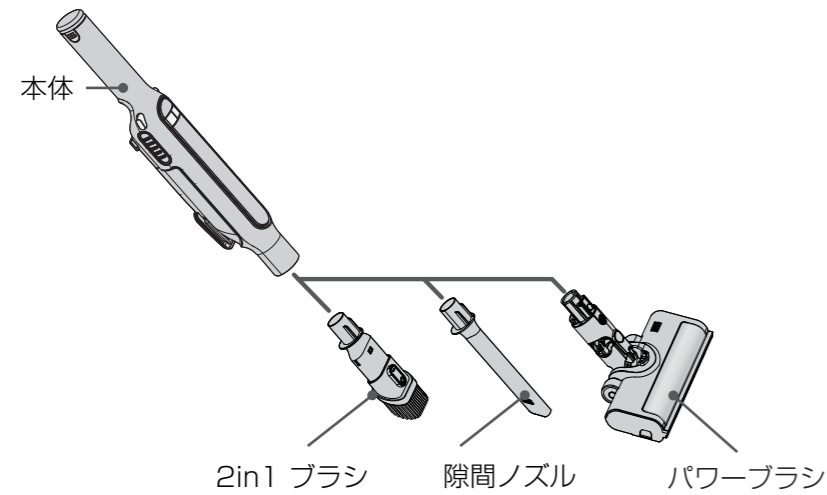
お掃除する

お掃除する場所に合わせて…

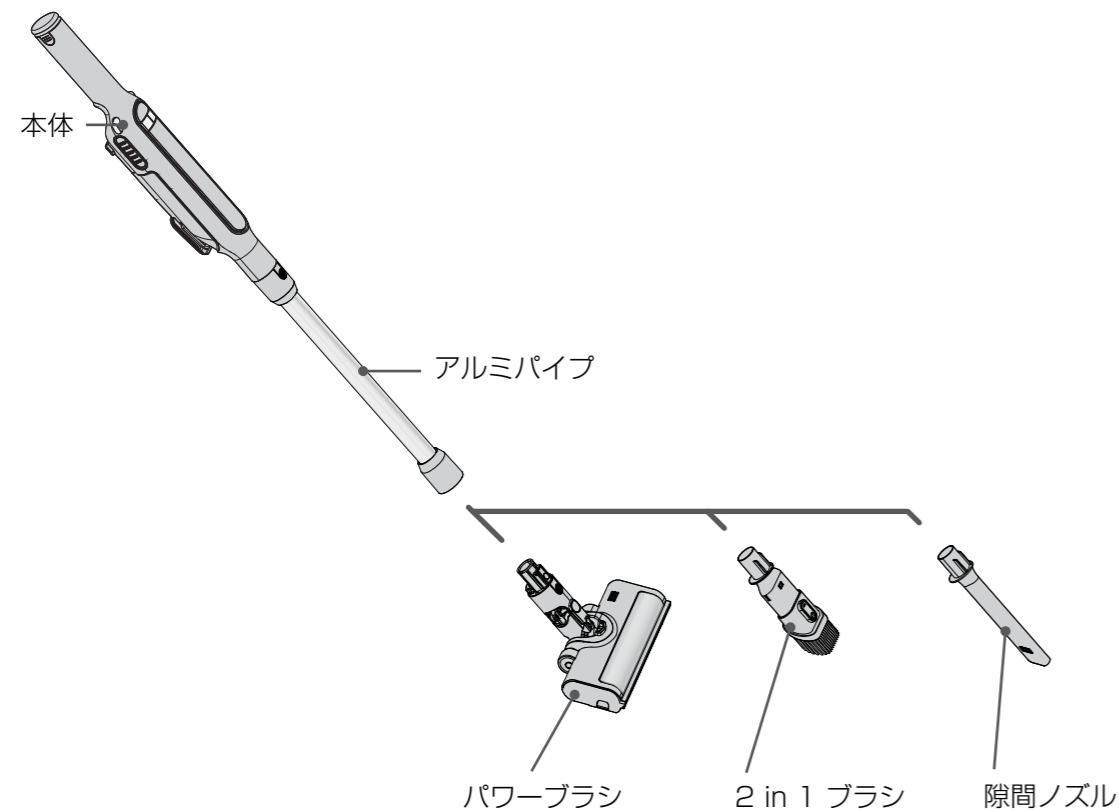
〈付属品の組み合わせかた〉

ハンディクリーナーとして

■アルミパイプを取りはずし、ハンディクリーナーとして使用できます。



アルミパイプに接続して



お掃除する

パワーブラシ



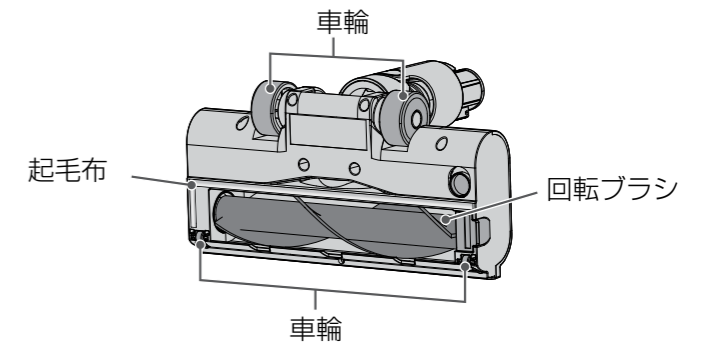
警告



接触禁止

パワーブラシ裏面の回転ブラシには手を触れない
・けがの原因。
特に小さなお子さまにご注意ください。

- 床面を軽く滑らせて使う。
- じゅうたんの種類によっては、回転ブラシが止まる場合があります。(ホットカーペット・毛足の長いもの・毛の密度の高いもの) この場合は運転を止め、もう一度運転してください。



たたみ、床のお掃除

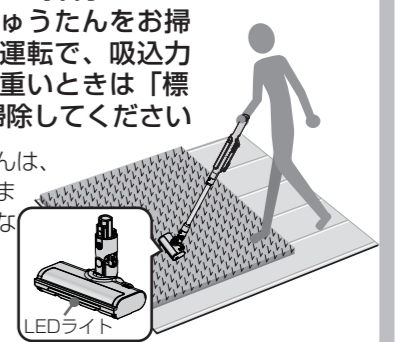
たたみ目、板目にそって
片手で軽く滑らせる
(傷付き防止)



じゅうたんのお掃除

毛足の長いじゅうたんをお掃除中に「強」運転で、吸込力が強く操作が重いときは「標準」運転でお掃除してください

新しいじゅうたんは、遊び毛が多く出ますが、徐々に少なくなります。



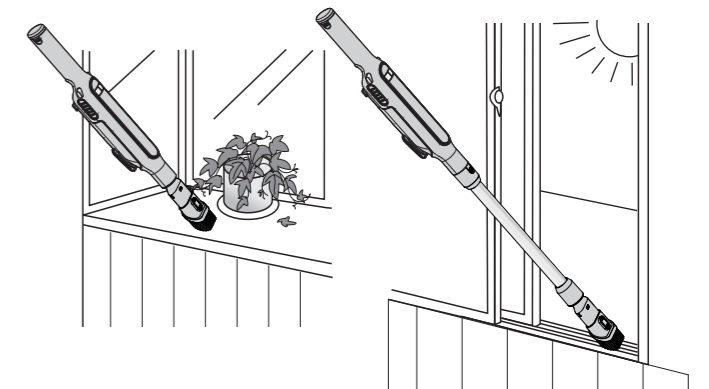
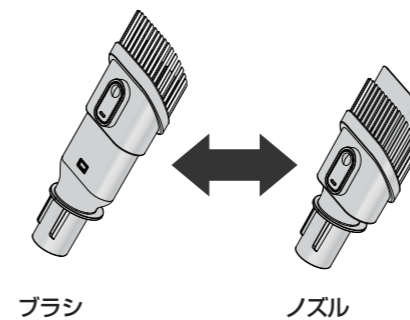
パワーブラシには緑色のLED搭載されているため、ゴミをはっきり見ることができます。パワーブラシに大きなゴミが詰まって回転ブラシが回らない場合、本体のお知らせランプ3個共点滅します。その場合は、使用をやめてお手入れをしてください。(P17)

お願い

- 床や階段に強く押し付けしないでください。(傷付きの原因)
- 裏面の車輪・起毛布が摩耗している場合は使わないでください。(床面の傷付きの原因)

2in1ノズル

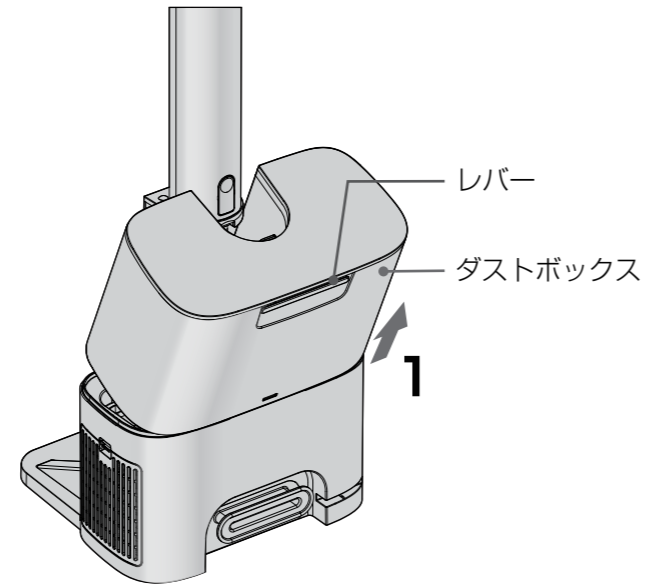
■2in1ノズルまたはブラシで使う



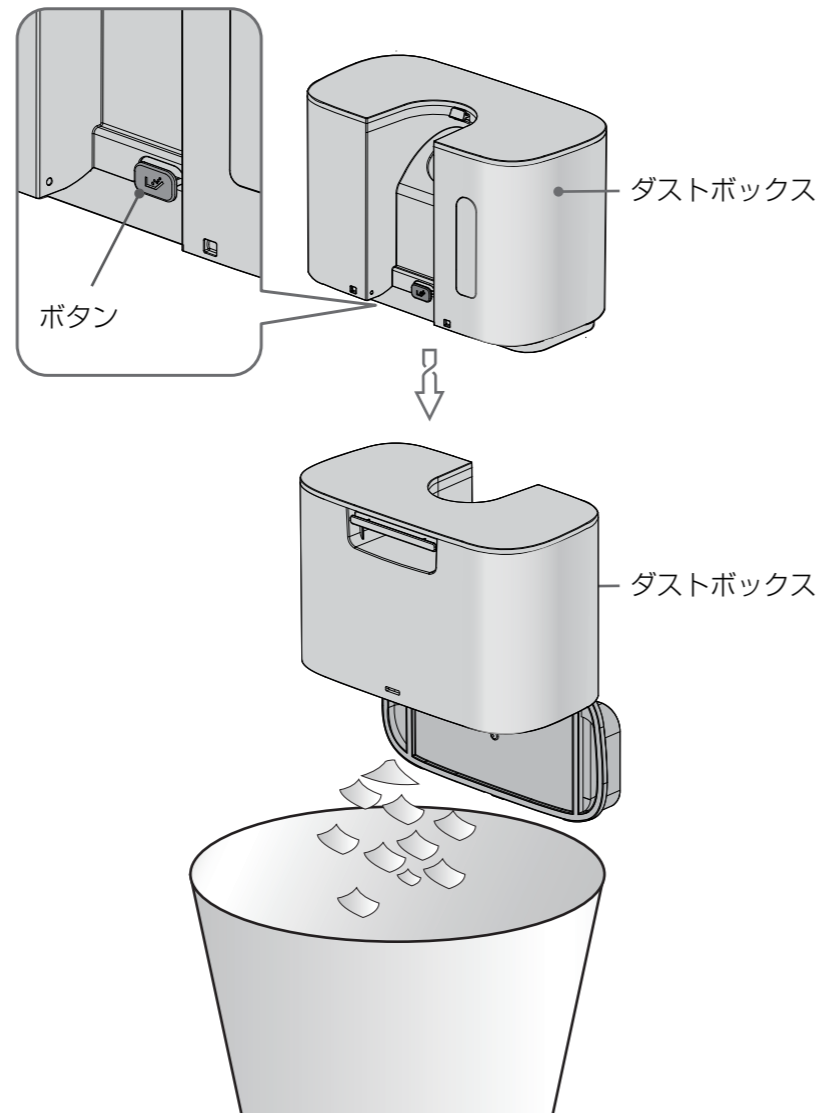
お手入れのしかた

1 ダストボックスを取りはずす

レバーを引きながら、ダストボックスを手前に傾け、取り外してください。



2 ダストボックスの底面を支えながらボタンを押して、ゆっくりダストボックスのフタを開いてください。



お手入れのしかた



警告



水ぬれ禁止

水洗いや、風呂場などの水まわりでの使用は絶対にしない
(水洗いできる部品は除く)

感電の原因になります。

お手入れの前には運転を止め、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■性能・品質を保つために、次のことを守ってください

- お手入れに、ベンジン・シンナー・アルコール・漂白剤・原液の洗剤などを使わないでください。また、洗濯機で洗わないでください。(ヒビ割れ・変色・色落ちの原因)になります。
- 毛のかたいブラシで洗わないでください。(傷付きの原因)になります。
- 暖房器具・ドライヤーなどで乾かさしないでください。(ヒビ割れ、変形の原因)になります。
- ぬれたままで使わないでください。(故障の原因) 乾燥時間の目安は日陰の風通しの良い場所で約1日(24時間)です。

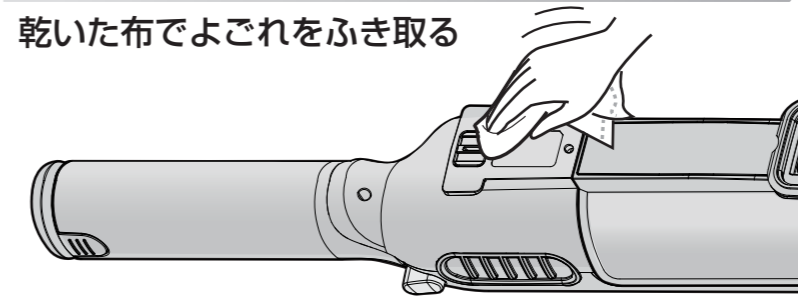
本体

本体・・・よごれが気になったら

乾いた布でふく

接点・・・定期的を確認してください

乾いた布でよごれをふき取る

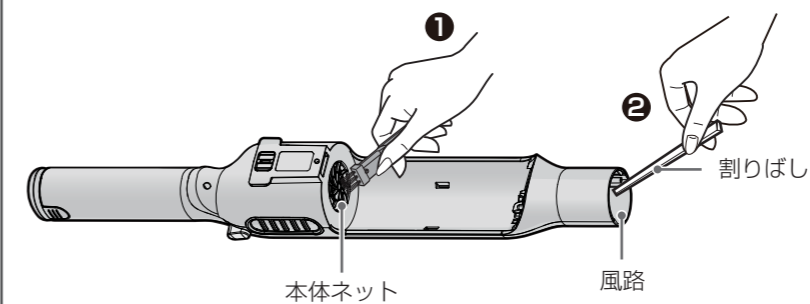


風路・本体ネット・・・吸込力が弱く感じたら

1 ダストカップを取りはずす (P16)

2 ゴミやよごれを取り除く

- ① やわらかいブラシ等で本体ネットのよごれを取り除く
- ② 割りばしなどで風路に詰まったゴミを取り除く



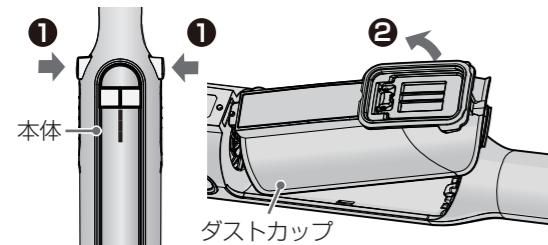
次のページ

お手入れのしかた

ダストカップ・・・吸込力が弱く感じたり、お手入れランプが点滅したら

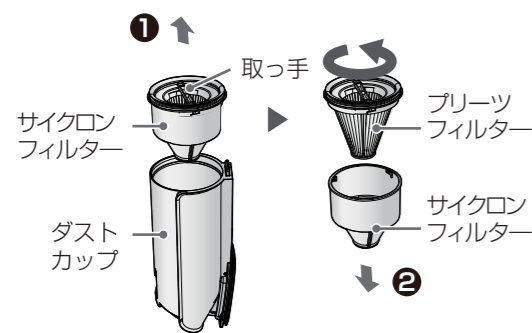
1 ダストカップを取りはずす

ダストカップのボタンをつまみながら矢印の方向に持ち上げる。

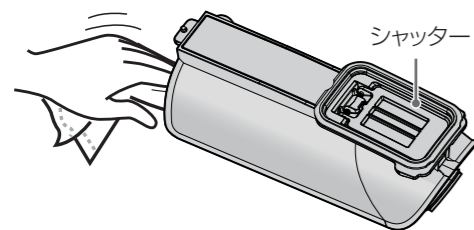


2 分解して付着したゴミを取り除く

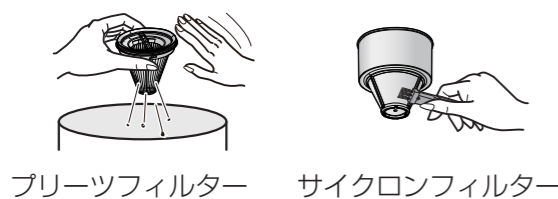
取っ手を引き上げフィルターをはずす
プリーツフィルターを矢印の方向に
回しサイクロンフィルターから取りはずす。



ダストカップにゴミが付着している場合は取り除き、水を含ませた布でふき取る。

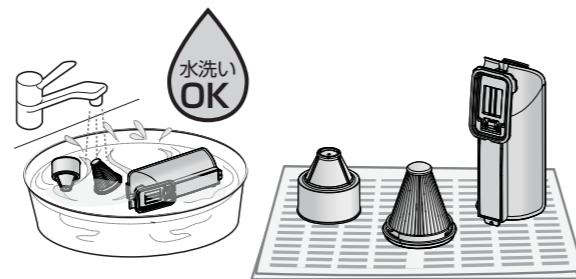


サイクロンフィルターはやわらかいブラシ等で清掃し、プリーツフィルターは軽いたたくかやわらかいブラシ等でゴミをかき出す。



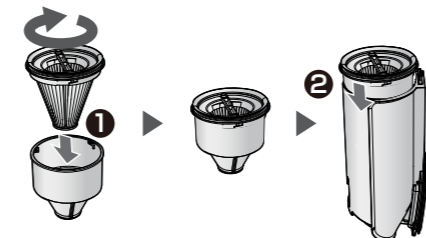
3 水で洗い、十分に乾かす

●容器に水をため、つけ置きするとゴミが落ちやすくなります。



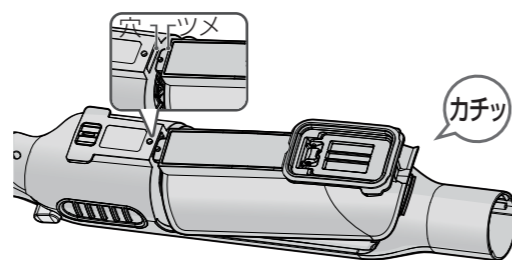
4 ダストカップを組み立てる

①プリーツフィルターを矢印の方向に回し、サイクロンフィルターに取り付ける。
②サイクロンフィルターを矢印の方向にいれ、ダストカップに取り付ける。



5 ダストカップを本体に取り付ける

本体の穴にダストカップのツメをはめる「カチッ」と音がするまで押し込む。



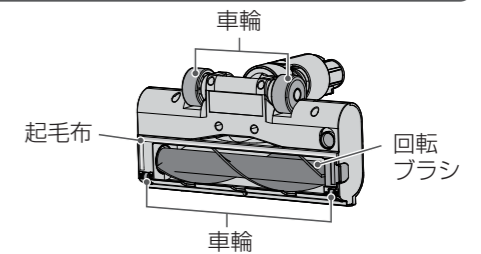
お願い

- 各部品は十分に乾燥してから本体にセットしてください。(雑菌が繁殖し、排気のおい原因)
- フィルターは必ず取り付けてください。また、フィルターが破損したり、お手入れが不十分なまま使い続けしないでください。(モーターの発煙・発火・故障の原因)
- パッキンは故意に引っ張ったり、取りはずしたりしないでください。

お手入れのしかた

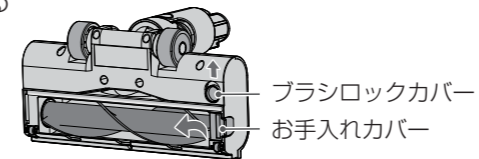
パワーブラシ・・・週に1・2度点検を!

- 車輪・回転ブラシにゴミがからんでいるとき、よごれが気になるときは、お手入れしてください。ゴミがからむと車輪・回転ブラシが動かなくなります。
- 車輪・起毛布が摩耗していると、床面を傷付けることがあります。

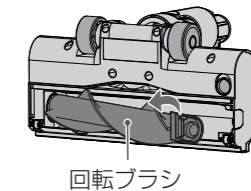


1 お手入れカバー、回転ブラシをはずす

① ブラシロックカバーを矢印の方向に動かし、お手入れカバーを手前に持ち上げる

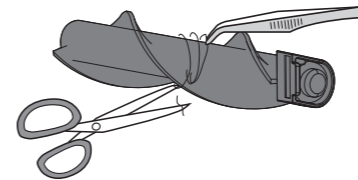


② 回転ブラシを持ち上げ、取りはずす



2 ゴミを取り除く

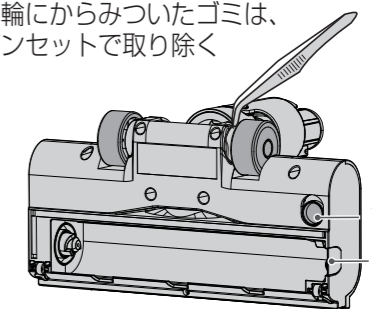
① 回転ブラシにからみついたゴミは、はさみで切り、ギアに付いたゴミは、やわらかいブラシ等で取り除く



回転部・お手入れカバーは水洗いできます
水洗い後は、陰干しで十分に乾かしてください

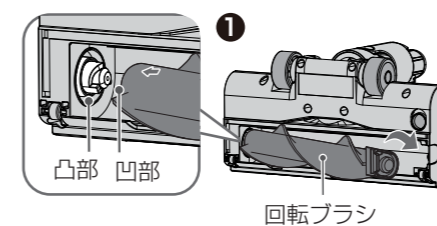


② 車輪にからみついたゴミは、ピンセットで取り除く



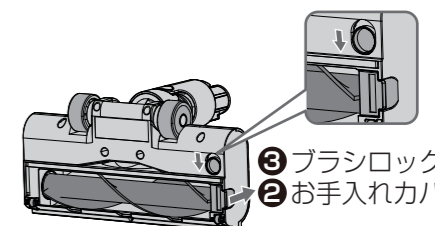
3 回転ブラシ、お手入れカバーを取り付ける

① 回転ブラシの凹部を凸部に合わせ、取り付ける



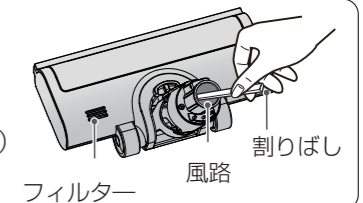
② お手入れカバーのツメをパワーブラシの凹部に掛け矢印の方向に倒す

③ ブラシロックカバーを矢印の方向に動かし確実にロックする



お願い

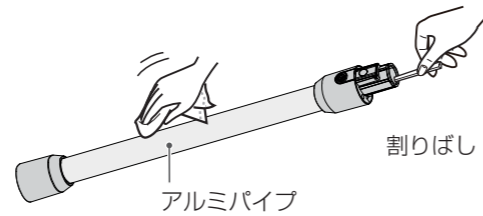
- 風路内にゴミがたまっている場合は、割りばしなどで取り除いてください。
- フィルターにホコリがたまっているときは取り除いてください。
- 回転ブラシ・お手入れカバー以外は水洗いしないでください。(故障の原因)
- 回転ブラシの両端には注油しないでください。(動作不良の原因)



お手入れのしかた

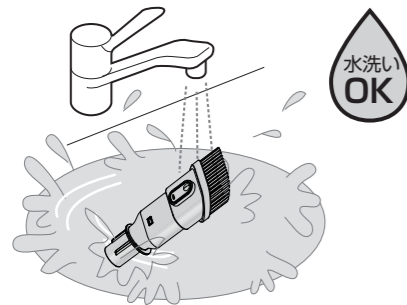
アルミパイプ

よごれが気になるときは乾いた布でふき、風路に詰まったゴミは割りばしなどで取り除く



2in1ブラシ

水洗いして十分に乾かす

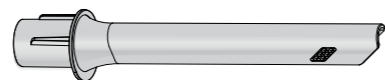
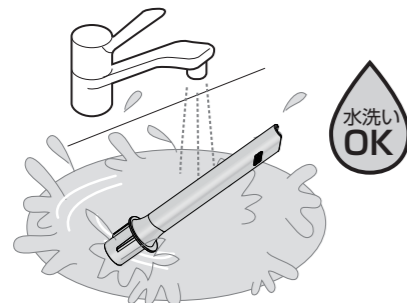


●毛ブラシがはずれたときは、ノズルの凸と毛ブラシの穴の形状を合わせて、毛ブラシを広げながら取り付けてください。



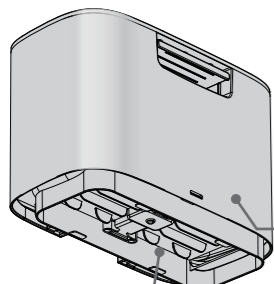
隙間ノズル

水洗いして十分に乾かす



ダストボックス下フィルター

水洗いして十分に乾かす



ダストボックス



ダストボックス下フィルター

注意

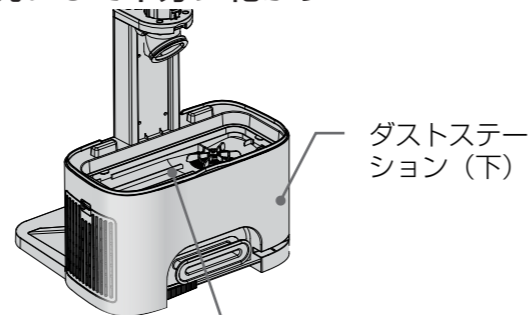
1: 水洗いした部品は十分に乾してからセットしてください。カビが繁殖して異臭の原因になります。

注意

2: お手入れ後は必ずダストボックス下フィルターとダストステーション(下)フィルターを正しくセットしてください。故障、火災の原因になります。

ダストステーション(下)フィルター

水洗いして十分に乾かす



ダストステーション(下)



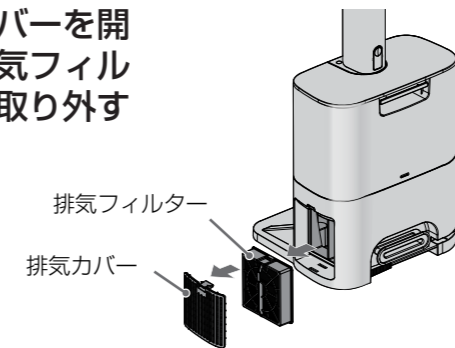
ダストステーション(下)フィルター

お手入れのしかた

ダストステーション

DS ネット・風路

1 排気カバーを開け、排気フィルターを取り外す

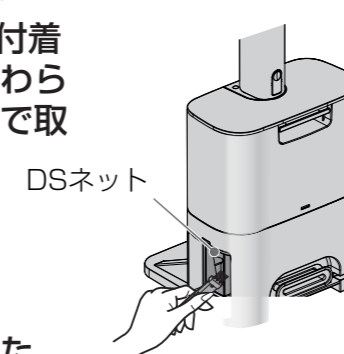


2 排気フィルターのお手入れのしかた

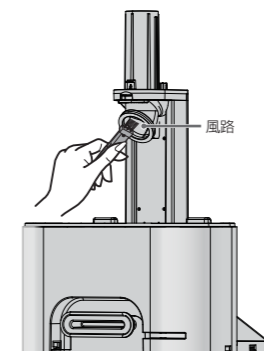
排気フィルターに付着したやわらかいブラシ等でゴミを取り除いてください。汚れがひどい場合は水洗いして十分に乾かす。



3 DS ネットに付着したゴミをやわらかいブラシ等で取り除く



4 風路に詰まったゴミを取り除く



注意 1: 水洗いした部品は十分に乾してからセットしてください。カビが繁殖して異臭の原因になります。

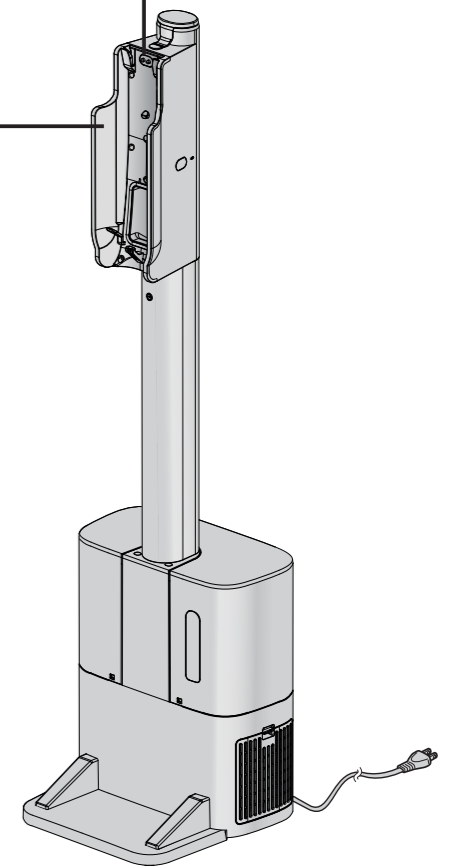
注意 2: お手入れ後は必ず排気フィルターと排気カバーを正しくセットしてください。故障、火災の原因になります。

接点・・・定期的に確認を

1 コンセントから電源プラグを抜く



2 乾いた布でふき取る



故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら



警告



分解禁止

絶対に改造はしない

また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない

・火災・感電・けがの原因。

修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

修理サービスを依頼する前に

- 充電中に異常が生じたときは、電源プラグを抜き、約1分後にもう一度差し込んで充電をしてください。それでも異常が直らないときや運転中に異常が生じたときは、運転を止め次の点をお調べください。

| このようときは | 調べて、直してください | 参照ページ |
|-------------------------------------|--|---------|
| 運転しない 運転中に止まる | 充電されていますか。 →運転ボタンを押し、お知らせランプが白点滅するときは充電不足です。 | ▶ 10 |
| | 本体をダストステーションからはずした直後は運転できません。約3秒間お待ちください。 | ▶ 11 |
| | ダストカップがゴミでいっぱいになったり、風路にゴミが詰まったりしていませんか。(本体の保護装置が働いています) | ▶ 14~19 |
| | パワーブラシにゴミが吸い付いていませんか。(本体の保護装置が働いています) | ▶ 17 |
| 吸込力が弱い 運転中に お知らせランプ が白点滅する | お知らせランプが白点滅していませんか。 →本体をダストステーションにセットしてください。 | ▶ 10 |
| | ダストカップがゴミでいっぱいになっていませんか。 | ▶ 16 |
| | サイクロンフィルターやブリーツフィルターにゴミが詰まっていますか。 | ▶ 16 |
| | 水などの液体や湿ったゴミを吸い込んでいませんか。 | ▶ 5 |
| | 水洗いできる部品は水洗い後、十分に乾かしていますか。 | ▶ 16~19 |
| 「強」で運転中に 吸込力が弱くなる | 風路にゴミが詰まっていますか。 →付属品をはずしてゴミを取り除いてください。 | ▶ 14~19 |
| | 次のような場合、電池パックの劣化防止のため過熱保護回路が働き、吸込力が弱くなることがあります。 ・目詰まりしたまま連続運転をしたとき → ゴミを取り除いてください。 ・高温環境で連続運転をしたとき → 涼しい場所に置いてください。 約1時間後に元に戻ります。 | ▶ 14~19 |
| 運転時間が短い | 満充電にしても、しばらくお使いにならなかったときは、運転時間が短くなることがあります。もう一度、満充電にしてからお使いください。 | ▶ 10 |
| | 寒いところでお掃除していませんか。(5℃以下) | ▶ 10 |
| | 電池パックが消耗しています。 →販売店でお買い求めください。 | ▶ 25 |
| 本体・電池パック が熱い | 制御回路に電流が流れたり、モーターの動作による熱です。(異常ではありません) | — |
| 手で持つところが熱い | 手で持つところ内部の電池パックによる熱です。(異常ではありません) | — |

| このようときは | 調べて、直してください | 参照ページ |
|---|--|---------|
| 本体の排気が 熱く感じる | モーターの熱のため、温度が上がります。(異常ではありません) | — |
| 充電中に お知らせランプ が点滅・点灯し ない | 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 | ▶ 7 |
| | 本体がダストステーションに正しくセットされていますか。 | ▶ 9 |
| | 充電が完了していませんか。 | ▶ 10 |
| | 本体やダストステーションのセット端子や電源プラグに異物が付着していませんか。 →異物を乾いた布でふき取ってください。 | ▶ 15~19 |
| 充電後に お知らせランプ が消灯しない 充電時間が長い | 長期間、充電しない状態で放置していませんか。 →長期間放置していたときは、電池パックが劣化し交換が必要な場合があります。 販売店にご相談ください。 | ▶ 10 |
| | 次のようときは、お知らせランプが消えるまでの時間が長くなる場合がありますが、異常ではありません。 ①室温が低いまたは高度が高いとき ②運転停止直後に充電したとき | ▶ 10 |
| パワーブラシ の回転ブラシ が回転しない <small>※場合により、お知らせランプが3点滅します。</small> | じゅうたんの種類(ホットカーペット・毛足の長いもの・毛の密度の高いもの)によっては回転ブラシが止まる場合があります。 →運転を止め、もう一度「標準」運転でお掃除してください。 | ▶ 13 |
| | 回転ブラシはヘッドに確実に取り付けられていますか。 | ▶ 17 |
| | 回転ブラシの周りに糸くずがたくさん巻きついていませんか。 | ▶ 17 |
| | 大きなゴミや薄い敷物を巻き込んでいませんか。 | ▶ 17 |
| ダストステーション ゴミを吸引しない | 風路にゴミが詰まっていますか。 | ▶ 14~19 |
| | ダストステーションの電源プラグをコンセントに差しなおしてください。 | ▶ 7 |
| | 本体がステーションに確実にセットされていますか。 | ▶ 9 |
| ダストステーション・ 電源コード・排気 が熱く感じる | 制御回路に電流が流れたり、モーターの動作による熱です。(異常ではありません) | ▶ 22 |

以上の処置をしても異常がある場合は、P26~27のアフターサービスと保証をご参照ください。

故障かな？と思ったら

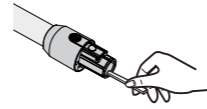
本体・パワーブラシ・ダストステーションのモーターおよび電池パックの過熱を防ぐため、保護装置が働きます。次のようなときは、お手入れをしてください。

本体が止まる時

- ダストカップがゴミでいっぱいのまま運転し続けた
砂ゴミ、誤って吸い込んだ湿ったゴミなど、吸い込むゴミの種類によっては、ダストカップがいっぱいになる前に、保護装置が働くことがあります。
- 風路にゴミが詰まったまま運転し続けた
- 夏期など室温が 35℃を超えている
- 吸込口や排気口をふさいで運転し続けた

直し方

- ① 運転を止める
- ② ダストカップのゴミを捨てる
または風路に詰まったゴミや排気口などをふさいでいるものを取り除く
- ③ 涼しい場所に置く



約1時間後、保護装置が解除され、再び使えます。

パワーブラシの回転ブラシが止まる時

- 回転ブラシに異物を巻き込んだ
- ホットカーペットや毛足の長いじゅうたんを掃除した

直し方

- ① 運転を止める
 - ② 回転ブラシに巻き込んだ異物を取り除く
- 保護装置が解除され、再び使えます。

ダストステーションが止まる時

- 風路にゴミが詰まったまま自動吸引を繰り返し運転した
- 夏期など室温が 35℃を超えている
- 排気口をふさいで自動吸引を繰り返し運転した

直し方

- ① 運転を止める
- ② 風路に詰まったゴミや排気口などをふさいでいるものを取り除く
- ③ 涼しい場所に置く

約1時間後、保護装置が解除され、再び使えます。

■製品廃棄について

電池パックを取りはずした本体・付属品・ダストステーションなどは、各自治体の指示に従って処分してください。

電池パックを廃棄するとき

⚠危険

- ⊘ 電池パックを分解、改造しない
禁止
●電池パックの液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。
●当社指定の純正電池パック以外を使用しない
●発熱・破裂・発火の原因になります。

⚠警告

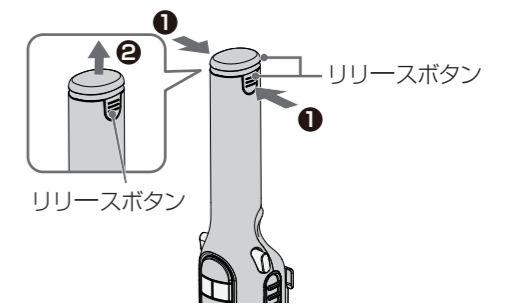
- ⊘ 不要になった電池パックは一般ゴミとして捨てない
禁止
●捨てられた電池パックがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になります。

電池パックは消耗品です。次の状態になったときは、電池パックを交換してください。

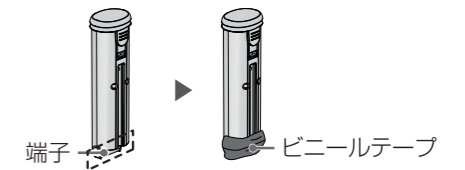
- 本体の運転時間が著しく短くなった
- 充電時間が長くなった

1 電池パックを取りはずす

- ① 本体をしっかりと支え、電池パックの両側のリリースボタンをしっかりと押します。
 - ② 本体から電池パックをゆっくりと引き抜きます。
- 運転が完全に停止するまで使い切ってから取りはずしてください。
 - 電池パックを取りはずすときは、必ずダストステーションから本体をはずしてください。

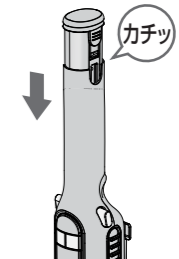


2 電池パックの端子にビニールテープなどを貼って絶縁する



3 新しい電池パックを取り付ける

- 電池パックは販売店にてお買い求めください。



●電池パックのリサイクル

電池パックは貴重な資源です。不要になった電池パックは、廃棄せずに販売店へお持ちいただくか、お住いの自治体にお問い合わせのうえ、リサイクルにご協力をお願いします。

以下のホームページから全国各地の排出協力店・協力自治体が簡単に検索できます。
一般社団法人 JBRC ホームページ <http://www.jbrc.com>



仕様

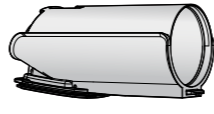




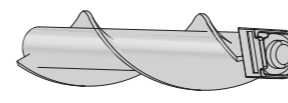

| | | | |
|-----------|------------------------------------|---|----------------------------------|
| 本体 | 電源方式 | 充電式 (バッテリー: リチウムイオン電池、バッテリーセル数: 4セル) | |
| | 外形寸法 | スティック時 | 幅: 228 mm 奥行: 141 mm 高さ: 1,080mm |
| | | ハンディ時 | 幅: 80mm 奥行: 72mm 高さ: 505mm |
| | 質量 | 1.46kg (本体、電池パック、アルミパイプ、パワーブラシの合計質量) | |
| | 集じん容量 | 0.15L | |
| | 充電時間 | 約4.5時間 室温や使用時間などにより異なります。 | |
| | 連続運転時間 (電池パック初期状態、 室温20℃の場合) | 満充電時 標準: 約33分 (ハンディ)、約30分 (スティッククリーナー) 強: 約11分 (ハンディ)、約10分 (スティッククリーナー) 床面の材質、お掃除する場所のゴミの状態、使用環境により 異なります | |
| 運転音 | 83dB以下 | | |
| ダストステーション | 電源方式 | 掃除機能部 交流100V 50/60Hz共用 充電機能部 入力: 交流 100V 50/60Hz 出力: 直流 18V, 500mA | |
| | 消費電力 | 吸引時: 1,000W 本体充電時: 約12W | |
| | 外形寸法 | 幅: 292mm 奥行: 234mm 高さ: 917mm | |
| | 質量 | 約3.3kg | |
| | 運転音 | 83dB以下 | |
| | 集じん容量 | 1.5L | |
| | コードの長さ | 1.5m | |

消耗品、別売部品

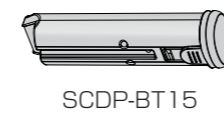
消耗品、別売部品

消耗品は、保証期間内でも有償とさせていただきます。
部品のご購入は、商品お買い上げのエディオン各店舗へご依頼ください。

● クリーナー部分

| | | |
|---|---|--|
| ダストカップ  SCDP-DC15 | サイクロンフィルター  SCDP-SF15 | プリーツフィルター  SCDP-PF15 |
| アルミパイプ  SCDP-AP15 | 2 in 1 ブラシ  SCDP-TB15 | 隙間ノズル  SCDP-SN15 |
| 回転ブラシ  SCDP-KD15 | パワーブラシ  SCDP-PB15 | |

電池パック







SCDP-BT15

● リチウムイオン電池
製品を正しく動作させるため
に、純正のリチウムイオン電
池パックをご使用ください。

● リチウムイオン電池パック
は、消耗部品です。本体保
証期間内でも有料となりま
す。

● ダストステーション部分

| | |
|--|--|
| ダストボックス下フィルター  SCDP-BF15 | ダストステーション (下) フィルター  SCDP-DF15 |
| 排気カバー  SCDP-HC15 | 排気フィルター  SCDP-HF15 |

アフターサービス

修理を依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(P20)をご確認ください。それでも異常があるときは使用を中止し、電源プラグを抜いてください。
- 製品と保証書・お買い上げレシートを準備し、下記のお問い合わせ先か販売店にお問い合わせください。

修理料金の仕組み

- 修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料 診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 修理に使用した部品および補助材料代です。

保証書

保証書は記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

《保証期間中》
保証書の内容に従って修理いたします。

《保証期間が過ぎている場合》
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
※場合によっては修理できない場合もございます。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

ご相談窓口・修理窓口のご案内

お取扱い・修理に関しては販売店へご相談ください。

※販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は下記のお問い合わせ先にご相談・お問い合わせください

お客様の個人情報の取り扱いについて

ご提供いただいたお客様の個人情報は、ご意見・ご質問への回答および弊社のお客様サービス向上のために利用させていただきます。ご質問の内容によりましては、適切な回答のためエディオングループ、および関係会社に情報を提供する場合もございます。その他、ご提供頂いたお客様の個人情報はエディオングループ個人情報保護方針に基づいてお取り扱いいたします。

エディオングループ個人情報保護方針 <https://www.edion.co.jp/privacy>

お問い合わせ先

～製品に関するお問い合わせ～

エディオンお客さま相談センター



受付時間：月曜日～金曜日
9:30～18:30（土日祝・年末年始除く）

0570-07-0557

有料

※番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願いいたします。※電話番号・受付時間等につきましては、変更になる場合がございます。

(2025.11月時点)

～修理に関するお問い合わせ～

家電の119番



受付時間：月曜日～日曜日
9:00～19:00（年中無休）

0570-06-0119

有料

※年末年始に関しては受付時間が変更となる場合がございます。※番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願いいたします。

(2025.11月時点)



愛情点検

●長年ご使用のクリーナーの点検を!



こんな症状はありませんか

- 電源を入れても動かない。
- 充電中にお知らせランプが点滅、点灯しない。
- 充電後にお知らせランプが消灯しない。
- パワーブラシ回転ブラシが回転しない。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中

事故の防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。

EDION

株式会社 エディオン

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島2丁目3番33号 大阪三井物産ビル
TEL 06-6202-6011